

THE HEKIKAI SHINKIN BANK

2026

へきしんミニディスクロージャー

第76期
業務のご報告

2025年4月1日から2026年3月31日まで

ごあいさつ

平素より「へきしん」をお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。
ここに当金庫第76期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)の事業の概要と決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。

2025年度のわが国の経済は、緩やかな回復基調を維持しましたが、人口減少や高齢化の進行による構造的な課題が依然として存在し、生産性向上やイノベーション創出が重要な課題となっています。多くの中小企業においては、人件費の上昇や人手不足、資材価格や燃料費の高騰、個人消費の伸び悩みなど、取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

また、米国トランプ大統領による相互関税の導入や日中関係の悪化、加えてイラン情勢の不安定化などにより、今後、当地域の基幹産業である自動車産業をはじめ、様々な業種に影響が懸念され、地域金融機関としての役割が一層期待される環境となっております。

こうした経済環境の下、お客さまの経営課題やライフスタイルは大きく変化しております。また、デジタル化の進展により、フィンテック

やキャッシュレス決済の普及が一層加速することが予想され、あわせて気候変動リスクへの対応や持続可能な社会の実現に向けた取り組みが一層重要性を増すことが見込まれます。

地域社会やお客さまの課題を的確に把握し、地域が持続的に発展するために地域金融力を発揮することが私共の使命であると考え、「すまいるプロデュース Only One Bank ～笑顔あふれる地域をめざして、私達は走り続けます～」をビジョンに掲げ、役職員一丸となって積極的に取り組んでまいります。

引き続き、格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月

理事長 深谷 誠



へきしんの業績

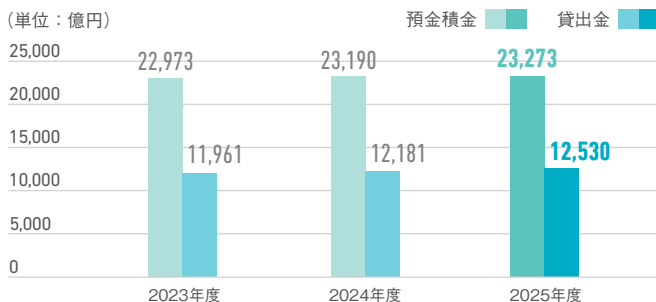
2025年度は「第11次中期経営計画(3カ年)」の2年目として、広くお客さまに対して魅力ある金融商品の提供に努めたほか、本業支援など幅広いお客さまの課題解決に全役職員一丸となって積極的に取り組んでまいりました。

預金・貸出金の状況

預金積金残高は、前期比83億円増加の2兆3,273億円(増加率0.35%)となりました。

貸出金残高は、前期比349億円増加の1兆2,530億円(増加率2.86%)となりました。

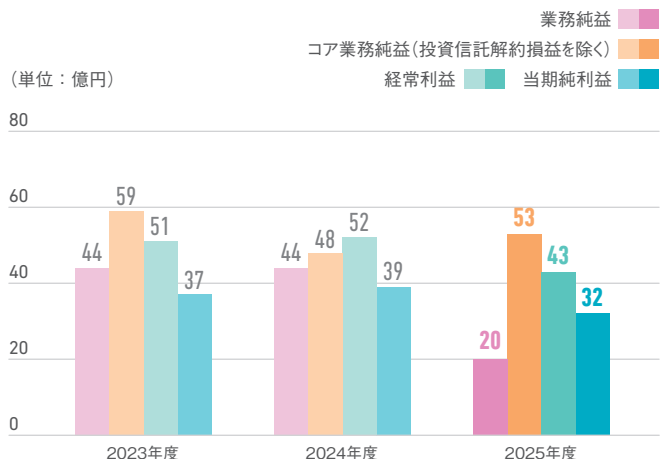
● 預金積金、貸出金の推移



損益の状況

業務純益は有価証券の損切りの実施等により20億円となりましたが、本業の利益での収益力を示すコア業務純益(投資信託解約損益を除く)は前期比5億円増加の53億円、経常利益43億円、当期純利益32億円となりました。

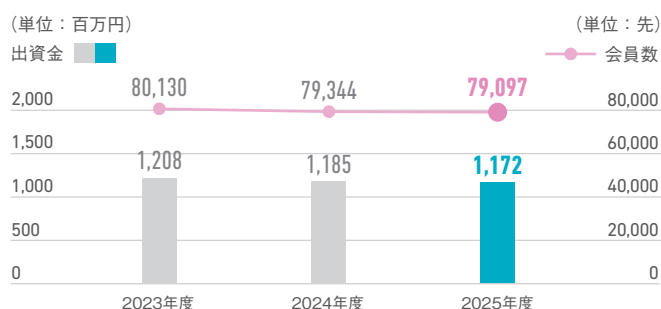
● 各利益の推移



会員数、出資金の状況

会員数は前期比247先減少の7万9,097先となりました。出資金は前期比12百万円減少の11億72百万円となりました。

● 会員数、出資金の推移



参考

業務純益: 融資など基本的業務に係る利益です。

コア業務純益(投資信託解約損益を除く): 業務純益から、一時的な変動要因(一般貸倒引当金繰入額、国債等債券関係損益および投資信託解約損益)を除いたものです。

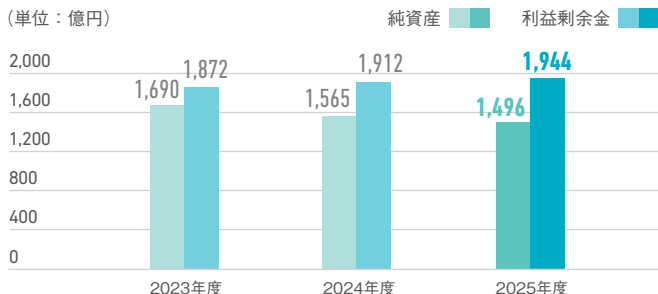
経常利益: 通常の営業活動からの利益です。経常的な収益力を見る上で重要な利益です。
当期純利益: 経常利益に特別利益と特別損失を加減し、法人税などを控除した利益です。最終利益ともいいます。

へきしんの業績

純資産の状況

純資産はその他有価証券評価差額のマイナスが拡大したことにより前期比69億円減少の1,496億円となりましたが、過去からの利益の蓄積である利益剰余金は前期比32億円増加の1,944億円と着実に増加しています。

● 純資産、利益剰余金の推移



POINT

当金庫は、純資産に占める利益剰余金の割合が高く、純資産の質が高いことが特徴です。

自己資本比率の状況

金融機関の安全性を表す代表的な指標である自己資本比率は、貸出金等の増加により、前期比0.19ポイント低下の15.31%となりました。

● 自己資本比率の推移



POINT

信用金庫に求められる国内基準（4%）を大きく上回っており、当金庫の安全性は極めて高い状態にあります。

※自己資本比率＝自己資本総額÷リスクアセット

当金庫の概要 (2026年3月31日現在)

創業	1950年10月25日	店舗数	78店舗（うち出張所1カ所、インターネット支店1店舗）
総資産	2兆5,013億円	駐在員事務所	1カ所（バンコク）
預金	2兆3,273億円	店舗外ATMコーナー	57カ所（共同ATMコーナー含む）
貸出金	1兆2,530億円	役員員数	1,225人
出資金	11億72百万円	本店所在地	安城市御幸本町15番1号
自己資本比率	15.31%（単体）		

JCR 格付

A+

2026年3月取得

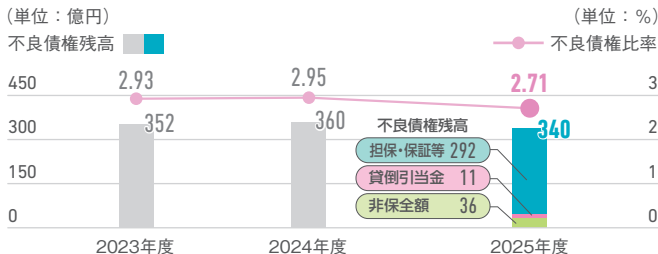
※へきしんの「格付事由」については、JCRホームページ（<https://www.jcr.co.jp>）をご覧ください。
※JCR格付は取得後1年ごとに見直しが行われます。

※本資料に掲載している計数は、特に表示のない限り、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

不良債権の状況

金融再生法ベースの不良債権額は、前期比20億円減少の340億円、不良債権比率は前期比0.24ポイント低下の2.71%となりました。

● 不良債権額、不良債権比率の推移（金融再生法ベース）



※当金庫は債務者に対する債権のうち、回収可能性がないと判断した部分について、直接貸借対照表から減額する部分直接償却を実施しています。

※不良債権比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

POINT

不良債権の89.2%が担保・保証、貸倒引当金でカバーされており、不良債権が経営に与える影響は極めて小さいものとなっています。

有価証券の状況

金利の上昇等により、評価損は前期比141億円増加の639億円となりましたが、保有する債券は国債、地方債、格付の高い社債・外国証券となっており、信用リスクは極めて低く、内部留保により蓄積された利益剰余金（1,944億円）で吸収できる水準に収まっています。

● 有価証券の時価情報

(単位：億円)

種 類	2025年3月末		2026年3月末	
	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	6,513	△ 498	6,636	△ 639
株 式	137	38	128	56
債 券	3,909	△ 385	3,967	△ 556
その他	2,466	△ 151	2,541	△ 140
売買目的有価証券	—	—	—	—
満期保有目的の債券	—	—	—	—

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。
2. 評価差額は、期末日の帳簿価格と時価の差額です。
3. 「その他」は投資信託・外国証券等です。
4. 本表には市場価格のない株式等及び組合出資金は含めていません。

1年のあゆみ

2025年	5月7日	豊田西支店・豊田朝日支店を新築移転オープン
	5月29日	安城商工会議所と地域のデジタル化推進を目的とした連携・協力に関する包括協定を締結
	6月17日	第75期通常総代会を開催
	10月25日	「へきしん75周年アニバーサリーフェスタ」を安城産業文化公園デンパークにて開催
	11月12日	株式会社NTTドコモ東海支社と「災害時の連携に関する協定」を締結
2026年	11月17日	令和7年度上半期 経営報告会を開催
	1月1日	へきしんスタートアップ投資事業有限責任組合（へきしんAOMIファンド）を設立
	2月9日	和泉支店を新築オープン
	3月4日	すまいるプロデュース「食べりん」西三河のうまいもんフォローアップ会を開催
	3月24日	「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン」成約企業様向け記念盾贈呈式を開催

第76期貸借対照表 (2026年3月31日現在)

科 目	金額 (百万円)	科 目	金額 (百万円)
(資産の部)		(負債の部)	
現金	14,818	預金積金	2,327,368
預け金	494,812	当座預金	90,236
買入金銭債権	9,661	普通預金	1,236,493
金銭の信託	3,918	貯蓄預金	4,292
有価証券	665,847	通知預金	7,190
国債	20,443	定期預金	934,530
地方債	103,000	定期積金	32,043
社債	273,280	その他の預金	22,581
株式	14,496	借入金	15,475
その他の証券	254,626	借入金	15,475
貸出金	1,253,005	その他負債	6,681
割引手形	1,022	未決済為替借	939
手形貸付	41,894	未払費用	3,062
証書貸付	1,112,915	給付補填備金	25
当座貸越	97,173	未払法人税等	317
外国為替	391	前受収益	402
外国他店預け	391	払戻未済金	14
その他資産	16,005	払戻未済持分	12
未決済為替貸	685	金融派生商品	2
信金中金出資金	11,236	資産除去債務	40
前払費用	19	その他の負債	1,863
未収収益	3,305	賞与引当金	205
金融派生商品	9	役員退職慰労引当金	478
未収還付法人税等	150	偶発損失引当金	249
その他の資産	599	睡眠預金払戻損失引当金	42
有形固定資産	23,325	債務保証	1,215
建物	7,241	負債の部合計	2,351,716
土地	13,830	(純資産の部)	
建設仮勘定	782	出資金	1,172
その他の有形固定資産	1,470	普通出資金	1,172
無形固定資産	642	利益剰余金	194,459
ソフトウェア	556	利益準備金	1,185
その他の無形固定資産	86	その他利益剰余金	193,274
前払年金費用	571	特別積立金	189,530
繰延税金資産	18,602	(うち固定資産圧縮積立金)	(28)
債務保証見返	1,215	(うち特別償却準備金)	(1)
貸倒引当金	△1,465	当期末処分剰余金	3,743
(うち個別貸倒引当金)	(△1,099)	会員勘定合計	195,632
		その他有価証券評価差額金	△45,996
		評価・換算差額等合計	△45,996
		純資産の部合計	149,635
資産の部合計	2,501,352	負債及び純資産の部合計	2,501,352

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

第76期剰余金処分計算書 (2025年4月1日から2026年3月31日まで)

科 目	金額(円)
当期末処分剰余金	3,743,645,215
利益準備金取崩額	12,147,000
特別償却準備金取崩額	588,286
計	3,756,380,501

これを次のとおり処分します。



科 目	金額(円)
剰余金処分額	3,546,693,847
利益準備金	—
普通出資に対する配当金	(年4%) 46,693,847
特別積立金	3,500,000,000
繰越金(当期末残高)	209,686,654

第76期損益計算書 (2025年4月1日から2026年3月31日まで)

科 目	金額(百万円)	
経常収益		32,540
資金運用収益	24,791	
貸出金利息	14,143	
預け金利息	2,928	
コールローン利息	406	
有価証券利息配当金	6,987	
その他の受入利息	324	
役務取引等収益	3,492	
受入為替手数料	889	
その他の役務収益	2,603	
その他業務収益	1,164	
外国為替売買益	12	
国債等債券売却益	606	
その他の業務収益	545	
その他経常収益	3,091	
貸倒引当金戻入益	182	
償却債権取立益	301	
株式等売却益	2,562	
金銭の信託運用益	39	
その他の経常収益	5	
経常費用		28,227
資金調達費用	5,611	
預金利息	5,527	
給付補填備金繰入額	33	
借入金利息	50	
その他の支払利息	0	
役務取引等費用	2,229	
支払為替手数料	124	
その他の役務費用	2,105	
その他業務費用	3,108	
国債等債券売却損	3,098	
金融派生商品費用	7	
その他の業務費用	1	
経費	16,217	
人件費	10,531	
物件費	5,046	
税金	639	
その他経常費用	1,060	
貸出金償却	216	
株式等売却損	527	
その他の経常費用	315	
経常利益		4,313
特別利益		28
固定資産処分益	16	
その他の特別利益	11	
特別損失		121
固定資産処分損	85	
減損損失	35	
税引前当期純利益		4,220
法人税、住民税及び事業税	784	
法人税等調整額	159	
法人税等合計		944
当期純利益		3,275
繰越金(当期首残高)		467
当期末処分剰余金		3,743

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

役員 (2026年3月31日現在)

会 長	山内 正幸	理 事	池田 英雄
理 事 長	深谷 誠	理 事	荒井 一郎
専務理事	小山 敦	理 事	川村 裕朗
常務理事	中村 浩行	理 事	榊原 直志
常務理事	小田井克篤	理 事	梶田 宜孝 ※1
常務理事	長澤 洋一	理 事	橋本 礼子 ※1
常務理事	坂 松喜		

常勤監事	石川 清巳	監 事	喜岡 渉 ※2
常勤監事	鈴木 禎人	監 事	蜂須賀太郎 ※2

※1 信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
※2 信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。